

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
沖縄福祉保育専門学校	昭和60年4月1日	松前 英行	〒900-0033 沖縄県那覇市久米1-5-17 (電話) 098-868-5796																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人大庭学園	昭和43年1月23日	大庭 荒	〒900-0033 沖縄県那覇市久米1-5-17 (電話) 098-988-0238																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	こども未来学科	平成6年文部科学省 告示第84号	-																							
学科の目的	本校は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、児童憲章・社会福祉事業の理念に基づき、こども未来学科においては、保育士、幼稚園教諭として必要な知識、技術を教授し、子どもを育てることのみならず保護者とともに育ちあい、地域に即した子育て環境を支える福祉人材の育成を目的とする。																										
認定年月日	平成 29年 2月28日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	126単位	45単位	67単位	10単位	0単位	4単位																				
単位																											
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
80人	76	1人	5人	36人	41人																						
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 基準:100点法を4段階(優・良・可・不可)評価に換算する。 方法:科目試験、提出物、レポート等																							
長期休み	■学年始:4月 1日～4月 5日 ■夏 季:8月21日～9月30日 ■冬 季:12月26日～1月5日 ■学年末:3月28日～3月31日		卒業・進級 条件	本校が指定した1,700時間以上の授業時数を履修かつ厚生労働大臣の定める授業科目及び単位を修得すること。																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 学修指導及び学生からの個別相談、保護者との連携、定期的な面談。実習先事業所との連携。各講師との連携。		課外活動	■課外活動の種類 学生会活動、学校祭の実行委員。 毎週1回、近隣の中学校の体育館にてスポーツ同好会。 地域行事へのボランティア参加。 専門学校体育大会など。 ■サークル活動: 有																							
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和3年度 卒業生) こども園、認可保育園、公立・私立幼稚園など ■就職指導内容 社会人基礎教育(ビジネスマナー)、求人票の閲覧(就職支援室)、就職活動に関する指導、就職先のマッチング等。 ■卒業生数 37 人 ■就職希望者数 36 人 ■就職者数 36 人 ■就職率 : 97 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 97 % ■その他  (令和 4 年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報)																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育士資格</td> <td>①</td> <td></td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>幼稚園教諭二種免許状</td> <td>①</td> <td></td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>社会福祉主事任用資格</td> <td>①</td> <td></td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	保育士資格	①		37人	幼稚園教諭二種免許状	①		16人	社会福祉主事任用資格	①		16人				
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
保育士資格	①		37人																								
幼稚園教諭二種免許状	①		16人																								
社会福祉主事任用資格	①		16人																								
※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																											
中途退学 の現状	■中途退学者 5 名 令和4年4月1日時点において、在学者88名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者83名(令和5年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更(就職)のため、家庭の事情、学費未納など。 ■中退防止・中退者支援のための取組 学生理解とコミュニケーション。定期的な個別面談、保護者への連絡及び保護者面談(本人、家庭との信頼関係の構築)。クラス運営に基づく仲間と学び合う支えあうチーム形成。 学修指導(個別指導)。相談支援室の設置。		■中退率 5 %																								
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ①学費支援金制度 制度内容: 修学または修業が困難な者に対して、学園が奨学資金を給付することにより、将来における有為な福祉人材の育成を図ることを目的とする。 ②特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																										
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科の ホームページ URL	<a href="http://www.ooba-gakuen.ac.jp">http://www.ooba-gakuen.ac.jp</a>																										

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

- (1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針
- ・大庭学園の建学の精神である「心は豊かに 技は確かに」を教育理念に福祉人材の育成を目指す。
  - ・キャリア教育、実践的な職業教育の視点から関連分野と連携して、カリキュラムや教育方法の工夫を実施する。
  - ・実践的な専門職業教育を行う教育機関として、関係業界等において必要な人材育成を実現する。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け  
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行ない、教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。以下同じ。）に活かすことを目的に設置する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
大庭 荒	学校法人大庭学園 理事長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
諸見里 安知	学校法人大庭学園 統括部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
松前 英行	沖縄福祉保育専門学校 校長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
新良 典子	沖縄福祉保育専門学校 教務課長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
德里 大輔	沖縄福祉保育専門学校 学校事務課長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
江川 毅	沖縄福祉保育専門学校 シニアスペシャリスト	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
仲間 優子	沖縄福祉保育専門学校 こども未来学科主任	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
仲宗根 由美	沖縄福祉保育専門学校 専任教員	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
大城 克也	沖縄福祉保育専門学校 専任教員	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
大城 了子	沖縄福祉保育専門学校 専任教員	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
五十嵐 千佳	沖縄福祉保育専門学校 学校事務	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
ウィンフィールドひろみ	沖縄県私立保育園連盟 副会長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
仲間 明	こちんだこども園 園長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
島 朋子	(福)雅福祉会 松島こども園 園長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	
天願 順優	(福)勇翔福祉会 コスモストーリー保育園 園長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年間開催数：2回 開催時期：原則 7月、2月

第1回：令和 5年 7月 13日 14:00～16:00

第2回：令和 6年 2月 15日 14:00～16:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

○実習受け入れる前に事前オリエンテーションを実施している。その際に、実習担当者より事業所の教育・保育理念や方針を説明し、実習に望んでいる。

○朝礼や職員会議等で唱和を定期化している。

○新人研修を通じて、対象となる新人職員の潜在能力や関係性をアセスメントし、それを考慮した部署配属やクラス配置を行っている。

→実践現場の状況を学生に伝えることで、実習に臨むための姿勢を育むために活用した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携のもとで、介護業界における人材の専門性に関する動向、新たに必要となる実務に関する知識、技術、技能など十分に分析、協議した上で実習・演習科目の教育課程の内容、指導の在り方について助言を受けたものを教育課程編成時に活用していく。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

各保育所、保育園へ実習受入を依頼し、保育分野における保育士になるための必要となる実践的かつ専門的な能力を育成するため、各施設、園と連携して実習・演習等を行っていくものとする。

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
保育実習Ⅰ	実際に指導案を作成し、クラスを担当して保育所保育の目標、内容、方法、評価について具体的に学ぶ。	社会福祉法人わかめ福祉会わかめこども園 社会福祉法人育泉福祉会よぎ南保育園 社会福祉法人ゆたか福祉会ゆたか認定こども園など
保育実習Ⅱ・Ⅲ	保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。	社会福祉法人わかめ福祉会わかめこども園 社会福祉法人育泉福祉会よぎ南保育園 社会福祉法人ゆたか福祉会ゆたか認定こども園など
教育実習	各幼稚園での教育実習を通じて、保育内容・方法、保育者の役割などをこどもとかかわりながら学ぶ。	ゆたか認定こども園、あいわこども園、さつきこども園、のそこ幼稚園など
保育実習事前指導Ⅱ	保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深めるとともに、子どもの観察や関わりを視点を明確にすることで、保育の理解を深める。保育士としての自己の課題を明確化するとともに、既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。	社会福祉法人わかめ福祉会わかめこども園 社会福祉法人育泉福祉会よぎ南保育園 社会福祉法人ゆたか福祉会ゆたか認定こども園など
福祉保育ゼミナール	保育士の専門性を高めるため、さらなる知識・技能の習得、就業体験を通じた専門分野における高度な知識・技術を学ぶ等の展開を通じて、卒業後の現場実践における実践力を育む。	にぬふあ保育園、西原保育園、ばんだ保育園、どんぐりの里保育園など

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学校法人大庭学園教職員研修規定に基づき、専攻分野における介護福祉士養成に即した教育活動を実践するため、関連する機関と連携して実務に関する知識、技術、技能の修得及び教員個々の教育活動上の役割を考慮し、指導スキルの向上を目的とした組織的かつ計画的な研修、研究を教職員に対して実施、実践する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「令和4年度全国保育士養成セミナー」(連携企業等:全国保育士養成協議会)

期間:令和4年8月25日(木)・26日(金) 対象:保育専任教員

内容:「こどもたちへ繋ぐ自然と文化、そして命」をテーマに厚生労働省報告、分科会、基調講演

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「令和4年度実習指導者認定講習」(連携企業等:全国保育士養成協議会)

期間:令和4年8月31日(水)・9月1日(木) 対象:保育専任教員

内容:「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「令和5年度全国保育士養成セミナー」(連携企業等:全国保育士養成協議会)

期間:令和5年9月2日(土)、3日(日) 対象:保育専任教員

内容:テーマ「つながり」wo 厚生労働省行政説明、基調講演、シンポジウム、分科会

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「職業教育・キャリア教育財団 中堅教職員研修」(連携企業等:職業教育・キャリア教育財団)

期間:令和5年7月25日(日) 対象:保育教職員

内容:「学校の経営(SWOT分析を中心として)」

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価報告書、学校側の改善策・方法及び学生評価を踏まえ、学校関係者委員の多様な知見や経験から率直かつ的確な検証・評価を助言としていただき、学校側の理解も深めつつ、今後実践すべき改善策の具体的方法を協議する場とする。委員のご指摘から、自己評価の客観性、透明性をさらに深め、適宜改善した内容について各委員に報告することで、改善方策等の効果を高めていくことを基本方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・育成する人材像
(2) 学校運営	教育の内容
(3) 教育活動	教育の実施体制
(4) 学修成果	教育理念の達成度と教育効果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	社会的活動
(7) 学生の受入れ募集	管理運営
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	改革・改善
(10) 社会貢献・地域貢献	—
(11) 国際交流	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価、学生アンケート、評価委員会(R5. 3/14開催)の提言に基づき、学習環境や学生の満足度の改善を図った。  
→学校内の通信環境の整備、学生の休息できる環境整備など。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
石川 和徳	石川和徳社会福祉士事務所代表	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等委員
奥平 祐子	卒業生	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生
	在校生保護者	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

URL:<https://ooba-gakuen.ac.jp/>

公表時期：令和5年12月26日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学内の教職員による「自己点検・評価」を実施し、「自己点検・評価委員会」にて、点検・評価をいたしました。さらに学生による学校評価を取りまとめたものを集計し、より客観性、透明性の高い情報が提供できるように配慮しました。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学園(学校)の沿革、教育理念、学校の特色、校長挨拶、アクセス
(2) 各学科等の教育	カリキュラム、取得を目指す資格・検定、卒業後の進路
(3) 教職員	教職員一覧表
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	就職支援
(7) 学生納付金・修学支援	学費、学費サポート体制
(8) 学校の財務	財務
(9) 学校評価	自己点検・評価及び学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ

URL:<http://www.ooba-gakuen.ac.jp>